

さっぽろ気候変動(第2回)

タウン ミーティング

2025.10.26

赤レンガ
ホールA

『公正』の視点から ふたつ
もやや期
気候変動を学ぼう!

😊😊😊😊

はじめに 4~5人のグループをつくも
XXXXX

Q. タウンミーティング
とは?

社会課題について
市民が考え、学ぶ
参加型の学びの場

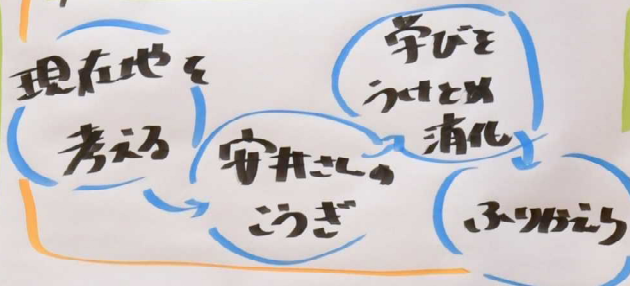
めざす姿

『気候変動』について何に学ぶ?と
“あなたの言葉で考えること”

目的

- 気候変動を『証』の視点から学ぶ
- 学ぶ意味と対話を通に考える

今日のほがれ



すごしかた

- リラックスに学ぶ
- 『いっしょにつくる』という
心がまえ
- 自分の感情も大切に

対話のじゅんぴ

- 無意識の思いこみも意識
- 発言のしやすさは平等ではないと
認識
- 自分の知識経験と向き合えない
- アドバイスはしない

✿ グラウンドルール ✿

話せき

- 自分の気持ちや
意見を話す
- 一言でいい

聞くとき

- 関心をもちときく
- 相手を決めない

😊

❀ チェックイン ❀ 私たち
知る時間

・ 呼ばれたいおなまえ 今のきもち
おきたまか 今不安なこと

札幌市の
HPをみて来た
みんな
がさが
みえる

第1回は 気候変動と
正しい科学知識
(前編)

[第1部] 集まった私たちの現在地とは?

個人ワーク
あなたは「公正」という言葉
聞いてどんなことを想像しますか

グループ対話
問い 今のあなたは「公正」という
言葉をどんなふうに考えられたか

・ “ずる”がないこと?
・ わからない...
・ 公平とはちがう?
・ 平等な権利
・ 判断基準が難しい
・ だれもが損しないこと
・ 傷つがないこと
・ 普段つかわない
・ 何をいって
正しい ← 正しくない
・ “ずる”がないだろうか?
・ 主語は「公(おおやけ)」、
・ よくわからない...
・ 立ち位置によってかわる

[第2部] 専門知識を学ぶ講義の時間

講演のおに... 自分たちで考えるまか 正しい知識を学ぶ時間
リラックスして

講師: 一般社団法人 Climate Integrate
公共政策ディレクター 安井 裕之 さん
科学・政策・社会をつなぐ
やすし ひろゆき

「公正」の視点から気候変動を学ぼう!

1. 公正を考える意義
そもそもなぜ「公正」?

不公平
バランスがとれて
か、状態を
イメージ
地理的
経済的
社会的
気候変動は世界共通の危機 影響は平等ではない

歴史的にCO₂排出量(多): 欧米の先進国
世界のCO₂排出量上位10% 富裕層
アベック
ヨーロッパ
全体の
50%

環境問題であると同時に
不公平の問題
だからこそ「公正(justice)」の視点が
必要

2. 国際社会における「公正」

気候正義 影響・負担・責任・利益を
公正・公平に共有する視点

分配的正義・手続的正義・世代間正義
公正な移行

現在のCO₂排出量は中国が圧倒的
1人あたり " は中東・豪州が上位

負担/分配の公平さ: 損失と損害基金

意思決定プロセスの公平さ: 気候市民会議

世代間の公平: 将来世代は過酷な気温上昇
若者による抗議行動が世界に
広がる

公正な移行: 脱炭素社会へ
企業・労働者・地域

3. 日本における公正

累積CO₂排出量で世界6位

自然災害

燃料・高炭化

資源の輸入依存

全国民の問題

自分ごと

台風・大雨による影響: 東北・中国・九州などに集中
再生可能エネルギー・原子力発電の立地
: 地域偏在性

COP29 ex)

太陽光が普及しても田舎面積の1%程度

所得水準による格差: 光熱費↓ 健康を守る
断熱・再エネが必要

意思決定プロセス: 政府審議会の委員編成(偏)

市民参加はパワームが中心

日本でも気候市民会議が広がる

若者による気候訴訟が始まる

脱炭素とは システムチェンジ

「公正さ」の視点を欠く、特定の地域に負担・恩恵が
偏っている脱炭素社会に進まない

〇私たちが住んでいる様々な角度から視点を公正さ、を考慮
国・地域・個人などどの方向に向き合うかを考えることが大切

ゆーさん
安井さんへ

ミニインタビュー

[第3部] 学びたいと話し合う時間

グループ
対話

被害者や被害者の立場で自身どう捉えている?

問い 講義や安井さんの話を聞いて
感じたこと・考えたこと・疑問に思っていることは?

CO₂ 排出国は日本
中国・アメリカ・ロシアから
排出量は多い。国として責任を
負うべきではないか?

いろんな側面での「公平さ」
審議会意味ある?
必ずか...

若し人が何かにいると
知らなければいけない。
「法」って何で考えたこと
はあった!

苦しいものどう受け止めている? 何のために
落ち込んでることもあった。自分のなかで
多面的に考えて冷静に相手のことを
理解しようと努める。

CO₂ 出すことは100%悪い?
目標が大事とばかりで
感情という人間的なものを軽視されてる

頭の中は混乱しているから
あんなに何をするにも複雑

環境問題・不公正など複雑で
受け入れがたく苦しいことを考えることは
どんな意味がある?

問い 気候変動が公正を考えると今の状況はどんなことを
受け入れなければならないか。
受け入れが難しい/苦しいと思うことはありますか。

とにかく耳をすまして...! 言うだけには
すまない。現場には色々な人々の
様々な感情がある。人々を考えると
いけない。
難しく複雑なことを理解しながら
すすまないと。

環境問題に公平さ
2つあり考えるのが難しい
変えるために何ができるかという
なにもしていない

少数派の意見とくみあわせる
しくみ
民主主義的なつくりか?

実際に社会を変えた! という思いに
かえりたくない。

自分だけが... 自分だけが
つづけている
マイノリティ側とメジョリティ側

?

想像力を広げることが大切ではない

問い これまでの時間を通してあなたは今
どんなことを感じていますか。 全体対話

自分1人では考えるのをあきらめてしま
うても、みんなで作って考えられる 

 マジョリティ側はマイノリティ側に想像力を
はたらかせている？ 非対等性を感じる

 みんなが負担(金銭的)をうけられ
る？

 気づいたら加害者であることを受け入れられ
ないがスタート。

 これまではどちらかというと被害者気持ちは強か
つたが被害者の視点から考えられるように。

 アクションに繋がって、けるのでは。

問い 公正を考えた方が気候変動対策を考える中
果してはプロパガンダかもしれない。
気候変動と公正を考えたことはどんな意味がある
のでしょうか？

 考える側にもいろいろな多様性がある。

 真正面から問題に向きあうために
「公平さ」は不可欠。

人と話すことで自分の価値観が変わる。
価値観が変わることはチームで行動する上で大切 

今の世代だけでなく、次の世代も思いやること
で意味のある対話になるのでは 

ひらき出す
3つ
かき 。今もまだ。今日(即時的)にたて。
意識し始めて/やってみよう。
。この地域のコミュニティに期待すること。

{info}

LINEの

オープンチャットでつながる

通知ON

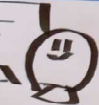
#

参加者インタビューの参加者

公式note

募集中

次◎ 11/26

地球規模の課題に対する
地域社会の可能性とは...? 

10/26(日)

⑤